

学校名	新座市立陣屋小学校
実施日	令和 5年 1月 18日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校はコミュニティ・スクールとして地域人材や教育力を生かし、地域や保護者と共にある学校を推進している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、スモールガーデン、親子清掃、全校遠足見守りなど、多くの場面でPTAの方々に支えられている。運営方法等スムーズで、積み重ねを感じる。 ・今年度は、児童がじっくりと話が聞けるよう、読み聞かせを給食後に変更していただいた。 ・おやじの会、焚き火体験を実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携も復活しつつあり、多くの方が参加されている。 ・先生方も、工夫して指導をされており、学校行事(運動会)では子供たちがとても生き生きしていた。 ・読み聞かせ等の人材確保について、今後検討していく必要がある。
2	学校は、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力・活用力等の学力向上に学校全体で取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修(算数科)では、各ブロックごとに研究授業を実施。教職員が積極的に校内研修に参加していた。 ・ICTの活用が日常化しつつある。児童の学ぶ意欲を高めている。 ・語彙力や足し引き、掛け算などに課題が見られる児童がいる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力は、非常に大切である。今後の取組に期待する。 ・語彙力の低下について。コミュニケーションの不足もあるといえる。家庭も含めて、大人が丁寧に対応していく必要がある。 ・ICTの活用が日常化していることはとてもよい。今後は、デジタルとアナログをどのように両立していくかも検討を。
3	学校は組織力の活性化とチームワーク行動の徹底に全職員で取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が一丸となって学校をよりよくしようと努力している。チームワーク行動がとれているといえる。 ・企画委員会を適宜開き、課題に対して検討、実践することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会では、先生方が子供たちと明るくコミュニケーションをとっていた。子供たちとの関係もよさそうであった。 ・大変なクラスもあるようだが、先生方が一生懸命かわりを持って対応している。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・提案資料などのペーパーレス化を進めているものの、まだまだ改善の余地がある。 ・主任の負担が大きい分掌がある。部内で分担していく必要がある。 ・業務内容の見直し、軽減化は今後も継続していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足が問題といえる。補助教員等を付けてもらいたい。 ・業務が軽減できるアプリなどを入れていく必要がある。 ・教員が働きやすい校務分掌にしてもらいたい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等、チェック、アクションの部分を実率的に行っていくたい。 ・今後も、行事内容等の精選、改善、スリム化をしていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組んでもらいたい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるように、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ショート避難訓練を行うことで避難の仕方が定着してきた。 ・校門、昇降口の扉を閉めることも定着してきた。 ・教職員の危機管理意識を高められるよう、今後も情報共有等を行っていく必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の訓練が非常に大切。繰り返し行ってもらいたい。 ・不審者を防ぐため、教職員がしっかりと対応していく必要がある。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価より一番数値が上がった(+0.28)項目である。教職員が意識して取り組めたといえる。 ・次年度の研究発表にむけて、算数科では、もう少し学習のルールの統一を図っていきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組んでもらいたい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートなどを活用し、思考力、判断力、表現力を高められるよう努めた。 ・学力向上にも関連し、今後も継続して取り組んでいく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組んでもらいたい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に概ね沿った指導を行うことができた。 ・ICTを様々な方法で活用した授業を行うようになり、児童も扱いに慣れてきた。 ・基礎基本の学力の定着には課題が残る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して、児童それぞれに合った学習や対応をしてほしい。 ・基礎学力の定着が難しい児童には、その背景も見えてもらいたい。 ・繰り返し学ぶ機会を設定し、基礎学力の定着をしっかりと行ってほしい。
10	学校は、英語(外国語・外国語活動)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年においては英語専科があり、学習が充実している。 ・中学年は講師と共に、楽しく学ぶことができている。 ・低学年は、授業時数が少なくなり、慣れ親しむことが難しい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の取組は、素晴らしいと感じる。他教科とのかかわりも考えつつ、今後も継続してもらいたい。 ・高学年が楽しそうに取り組んでいてよい。中学で英語が嫌いにならない下地を作ってほしい。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	・代表委員会の「あいさつ運動」により、あいさつの声がよく聞こえるようになった。1年生が、よくあいさつができています。 ・教職員が率先垂範することが重要である。 ・言葉づかいに関しては、家庭にもご協力を願いたいところである。	B	・「あいさつ運動」今後も継続して行ってほしい。 ・以前より、少しあいさつができるようになったと感じる。言葉遣い等、周りの大人が見本になりたい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	・いじめに関しては、素早く複数で対応していきたい。 ・生徒指導委員会だけでなく、必要に応じて企画委員会等でも対応していけるとよい。	B	・先生方が、一生懸命指導していると感じる。掲示などの環境もよいと感じる。 ・いじめ行為に関し、その背景にも寄り添ってもらいたい。また、する側、される側両方に寄り添ってもらいたい。保護者としては、学校に入ってもらうしかない状況である。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	・引き続き、教職員が範を示すよう意識していく必要がある。 ・児童、保護者対応など、若手教員への研修も進めていく。	B	・教師が子供の鏡となってほしい。 ・教師が、今すぐ、徹底してやってほしい。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	・運動会への取組等を通して体力向上に努めることができた。 ・マスクをとることで、活動の幅が増えた。 ・毎週火曜日、ロング屋休みがあり、元気に外で遊ぶ姿が見られた。	A	・運動会の子供たちの姿が素晴らしかった。先生方が、一生懸命に指導していると感じる。 ・子供の能力に合わせた取組ができてと感じた。 ・朝の取組があっても良いのではないかと。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	・おいしく、工夫された給食が提供されている。「一口メモ」により、食への関心が高まっている。 ・市の補助金のおかげで食物の値上がりにも対応することができた。	A	・引き続き、おいしい給食と取組をお願いしたい。 ・SDG'sへも、今後取り組んでほしい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	B	・スモールガーデン、親子清掃、遠足の見守り等、PTAの方々にはたくさんのお力添えをいただいている。ありがとうございます。 ・学校アンケート(フォームへの入力)を本年度は行った。課題はあるものの、今後も続けていきたい。	B	・PTAとうまく連携がとれていると感じる。 ・保護者アンケートの取組がとてもよい。今後も継続してもらいたい。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・HPに関し、今年度は更新も多く、校外学習、宿泊学習などの様子もいち早く伝えられている。	A	・ホームページがとても充実している。学校の様子がよくわかる。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	・学校応援団の方々には、見回りやパトロール、読み聞かせなどでご協力をいただいている。コロナが落ち着いてきたら、学校に来ていただく活動も増やしていきたい。	B	・学校応援団には、継続の難しさがある。 ・大学のボランティアセンターなどと連携してもよいのではないかと。